

「国旗ルール」を活用した Small Talk 指導法の開発と実践

大野恵理*・須曾野仁志**・萩野真紀*・榎本和能*

Designing and implementing a method to teach “Small Talk” to elementary students in Japan

Eri Ono*, Hitoshi Susono**, Maki Hagino*, Kazuyoshi Enomoto*

要 旨

2020年度の小学校外国語教科化で、第5学年では教員と児童、第6学年では児童同士が、既習表現を使って自分の考えや気持ちをやりとりする Small Talk を、2時間に1回程度実施することになって2年半が経過する。著者らが実施したアンケート及び聞き取り調査では、「Small Talk って何か分からない」「何を話したらよいか分からない」「どうやって会話を続けたらよいか分からない」と、多くの教員が Small Talk の指導を困難に感じていた。そこで、本研究では英語圏の会話パターンである Answer-Add-Ask のパターンを、小学生が理解できるように「国旗ルール（こたえる・ついかする・ききかえす）」とし、このルールに基づいた Small Talk 動画を作成して、三重県南部地域の A 小学校第5学年10名を8回（各10分程度）指導した。指導後のアンケート調査の結果から、多くの児童が「話す内容がすぐに思いつく」と回答し、「国旗ルール」に基づいた Small Talk 動画による指導の効果が見受けられた。今後も Small Talk の指導を継続し、アンケート調査及びパフォーマンステストを実施し、児童が「話すこと（やりとり）」の力を身につけて Small Talk ができるようになったかを調査する予定である。

キーワード：Small Talk（スモールトーク）、小学校外国語、話すこと（やりとり）、国旗ルール、ICT活用

はじめに

小学校外国語の授業において、指導者のまとまった話を聞いたり（第5学年）、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりする（第6学年）活動を、Small Talk（スモール・トーク）と呼び、2時間に1回程度実施することが、『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省，2017）で推奨されている。Small Talk は、既習表現や対話を続けるための基本的な表現の定着を図ることが目的の学習活動である。教員は、児童が既習表現を想起できるような指導・援助を行うことが必要とされ、文部科学省の公式 YouTube チャンネル(mextchannel)や、教育委員会等のウェブサイトを通して、Small Talk の実践例や指導法などを研修できる仕組みになっている。

Small Talk を小学校で取り扱うように推奨されたのが2017年度以降であるため、日本の小学校での指導の歴史が浅く、研究があまり進んでいないのが現実である。日本の学術論文のデータベース CiNii で “Small Talk”

または「スモール・トーク」で検索した結果、2021年時点で11本の論文があった（表1）。そのうちの6本が、小学校における Small Talk の実践研究であったが、研究内容は、児童の Small Talk に対する意識調査や、児童や教員の発話の分析が中心である。例えば、内山・染谷（2019）は、Small Talk を用いた授業と、児童の英語に対する意識の関係性を調査し、英語が得意な児童にとって Small Talk は動機付けになっていることが明らかになっている。しかし、指導者の Small Talk の具体例や、児童が Small Talk の内容を正しく理解できたのかは明らかにされていない。

また、山口・巽（2021）は、ALT（外国人指導助手）と児童の1対1の発話パフォーマンス（Small Talk）を調査し、Small Talk を帯活動として継続して指導することにより、発話総語数・やりとり数などが伸びて英語が流暢になり、Small Talk の力がついたことを明らかにした。しかし、具体的にどのような指導法を用いて指導をして、児童のパフォーマンスや意識が向上したかは、明らかにされていない。

国外での、英語を母語としていない学習者（EFL）の Small Talk の研究は見当たらない。しかし、EFL の学習者向けのテキスト Top Notch (Saslow & Ascher, 2015)

学習者	論文数
小学生	6
中学生	1
高校生以上	4

表1：CiNiiの検索結果

* 三重大学東紀州サテライト東紀州教育学舎

** 三重大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻

では、学習者が Small Talk が習得できるように、複数のストラテジー（例：ルーティン、バックチャンネリング等）が指導されている。

また Amazon (USA) では、Small Talk の関連図書は 1 万冊以上販売されており、これは、英語圏において Small Talk は「社会の潤滑油 (oil the social wheels)」（Holmes, 2005）として、人々が日常的に行っているが、英語を母語とする話者にとっても上記のようなストラテジー等を身につける必要があり、Small Talk は平易なものではないと考えられる。

問題と目的

第一著者（大野）は、三重大学東紀州サテライト東紀州教育学舎の教員として、2017 年より三重県南部地域の小学校の外国語教育支援を行う中で、小学校で外国語の指導を行っている教員から「Small Talk の指導ができない」という声を聞いてきた。そこで、教員アンケートと聞き取り調査を行った結果、2 点の問題点が明らかとなった。1 点目は、多くの教員が Small Talk の学習経験がないため、「Small Talk って何？」と感じていた。アンケートでは「Small Talk を実践している」と回答した教員の多くが、表 2 にあるようなやりとりを Small Talk と考えていた。表 2 のやりとりは、対話が続いていないことや、自分の気持ちや考えが十分に表現されていないため、Small Talk というより、Questions and Answers (Q & A) と呼ぶ方がふさわしいかもしれない。

2 点目の問題点は、教員の多くが「何について話し

A さん：	What food do you like?
B さん：	I like pizza.
	What food do you like?
A さん：	I like sweets.

表 2：A さんと B さんのやりとり

たらよいか分からない」「どうやって会話を続けたらよいか分からない」と感じていることが明らかとなった。mextchannel の動画や研修だけでは、Small Talk が指導できるようなレベルまで到達するのが難しいかもしれない。このアンケート結果によると、三重県南部地域の小学校において Small Talk が効果的に指導されているとは考えづらく、児童が「身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基本的な力を養う」という、教科目標を達成するために何らかの手立てが必要であった。

三重県南部地域の Small Talk の現状は、他の地域でも似たような状況であると考えられる。2021 年 10 月にオンライン開催された小学校英語教育学会の全国大会では、91 件の口頭発表のうち 8 件が Small Talk に関

連した発表であった。また、第一著者らが発表した Small Talk の実践研究は、約 200 名の大会参加者のうち 69 名の参加があり、Small Talk は全国の小学校教員にとっても関心が高いと感じられた。これらのことから、Small Talk は全国においても喫緊の課題であると考えられた。

そこで本実践研究では、児童が Small Talk の活動を通して、やりとりができるようになることを目標として、具体的な指導法や教材を提案し、それらに基づいた実践をすることを目的とする。

実践方法

本研究では、本研究では効果的な教育システム設計フレームワークの ADDIE モデルに沿って研究を設計した。

1. 分析 (Analysis)：2022 年 4～5 月

小学校外国語活動および外国語の教材の語彙や表現を分析した。また、会話パターンの分析をした。そして Small Talk の具体的な指導法として、Answer-Add-Ask（略称 3A:トリプル・エイ）を用いることにした。3A とは、英語圏で用いられている会話パターンの 1 つである。語学学校の Berlitz (n.d.) では、「A++（エー・プラス・プラス）、松香フォニックス（松香・橋本, 2004）では「AAA（トリプル・エー）」として、質問に答えたら (Answer)、説明を加え (Add)、相手に質問する (Ask) という流れを作る指導がされている。このパターンを使えば、自分の考えや気持ちを、Add の部分で自然に付け加えることができるため、先述の問題点 2 の「何について話したらよいか分からない」「どうやって会話を続けたらよいか分からない」は解決すると推測された。

A さん：	I like pizza.	Add
	Do you like pizza?	Ask
B さん：	Yes, I do.	Answer
	I also like sweets.	Add
	Do you like sweets?	Ask
A さん：	No, I don't.	Answer
	I don't like chocolate.	Add
	Do you like chocolate?	Ask
B さん：	Yes, I do.	Answer
	I like candy too.	Add

表 3: 3A を使った A さん B さんの Small Talk

mextchannel では、各単元の Small Talk の模範例の音声共有されているが、この模範例の会話は非常に長く、自分の考えや気持ちを一方的に相手に伝えているものが多く、小学校高学年には難しすぎるかもしれない（例：I like pizza. Pizza is delicious.

But I don't like sweets. I don't like candy. I don't like chocolate. How about you? What food do you like?). しかし、3A を使えば、一方的に伝えるのではなく、やりとりをしながら、相手に考えや気持ちを伝えることができる (表 3)。

話者	音声スクリプト	3A
Taro :	Hi, Hanako. I like your T shirt. Do you like ice cream?	 Add Ask
Hanako :	Yes, I do. I like vanilla ice cream. Do you like vanilla ice cream?	Answer Add Ask
Taro :	Yes, I do. I like chocolate ice cream, too. Do you like chocolate ice cream?	Answer Add Ask
Hanako :	Yes, I do. I like mint chocolate ice cream too. Do you like mint chocolate ice cream?	Answer Add Ask
Taro :	No, I don't. But I like mint gum.	Answer Add

表 4 : パイロット版に含まれる Small Talk

そこで、3A を使った Small Talk (表 4) をパイロット版として動画を作成し、三重県南部地域の 2 校の小学校高学年で出前授業 (15 分程度) をした。出前授業の結果、3 点の問題点が明らかとなった。第一に、会話が長すぎて、児童が会話を理解するのに時間がかかったことである。Answer-Add-Ask のパターンを体感させるために敢えて Taro-Hanako-Taro-Hanako-Taro の 2.5 ターンのやりとりを盛り込んだが、はじめての Small Talk の例としては長すぎた。第二に、“too”, “but” を第一回目の Small Talk で学習するのは、児童には負担であると感じられた。第三に、小学生には Answer-Ad

段階	学習内容
1	“Do you like ~?” “Yes, I do.” を使ったやりとりと「国旗ルール」との出会い
2	“Do you like ~?” “No, I don't. But,” を使ったやりとりと「国旗ルール」の復習
3	1~2 段階の復習、パフォーマンステスト

表 5 : 各段階の指導内容

d-Ask という表現は難しすぎると感じられた。

2. 設計 (Design) : 2022 年 6~7 月

パイロット版の Small Talk の出前授業の実践を踏まえて、この学習内容を 3 段階に振り分け (表 5) 指導することにした。さらに、Answer-Add-Ask という表現を、「国旗ルール」(図 1) と表現することにした。これは、「国旗」の頭文字をとった「こ」たえる、「っ」いかする、「き」きかえす、ことである。



図 1: 国旗ルール

3. 開発 (Development) : 2022 年 8 月~10 月

上記の 3 段階のうち、1, 2 については、PowerPoint を活用し、「いらすとや」のフリー素材のイラストを貼り、第一著者が Taro と Hanako になりきって音声を録音して動画を作成した。第一段階をレッスン 1 として、表 6 のようなスクリプトと表 7 のようなスライドを基にした動画を作成した。さらに、第二段階を、レッスン 2 として、表 8 のようなスクリプトを基にした

話者	音声スクリプト	国旗
Taro:	Hi. Hanako. I like your shirt. Do you like apples?	っ き
Hanako:	Yes, I do. I like apple pie. Do you like apples?	こ っ き
Taro:	Yes, I do. I like apple juice.	こ っ

表 6: レッスン 1 のスクリプト

ロールプレイ型の動画を作成した。

4. 実施 (Implementation) : 2022 年 9 月~11 月

レッスン 1, 2 の動画を用いて、2022 年 9 月~11 月に三重県南部地域の A 小学校第 5 学年生に出前授業を 8 回実施した。8 回の内訳は表 9 の通りである。

5. 評価 (Evaluation)

7 回終了後 (2022 年 11 月) に、児童 9 名に Small Talk

や英語の学習に対する意識調査を実施した。質問に対して、はい・いいえ・わからない、のうち1つを選ぶアンケート調査である。



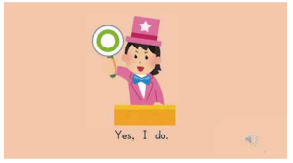
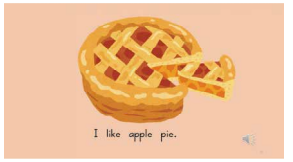


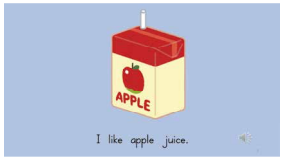
No	動画の画像と音声スクリプト	国旗
1		つ
2		き
3		こ
4		つ
5		き
6		こ
7		つ

表 7: レッスン 1 の動画

話者	音声スクリプト	国旗
Taro:	Hi, Hanako. Today's lunch is spaghetti. Do you like spaghetti?	つ き
Hanako:	Yes, I do. I like natto spaghetti. Do you like natto spaghetti?	こ つ き
Taro:	No, I don't. But I like tarako spaghetti? Do you like tarako spaghetti?	こ つ き
Hanako:	Yes, I do. I like tarako and ikasumi spaghetti. Do you like ikasumi spaghetti?	こ つ き
Taro:	No, I don't.	こ

表 8: レッスン 2 のスクリプト

	指導内容
1	Lesson 1 の動画を見て Small Talk の内容を理解する。
2	Lesson 1 の動画を見て、声を出して練習する。
3	ペアになり、Lesson 1 の Taro と Hanako になりきって、セリフを練習する。
4	ペアになり、自分の考えや気持ちを入れて、SmallTalk を録画する。
5	Lesson 2 の動画を見て Small Talk の内容を理解する。
6	Lesson 2 の動画を見て、声に出して練習する。
7	ペアになり、Lesson 2 の Taro と Hanako になりきって、セリフを練習する。
8	ペアになり、自分の考えや気持ちを入れて、Small Talk を録画する。

表 9: 出前授業 8 回の指導内容

結果と省察

本研究では、Small Talk の 8 回の指導の実施計画を立て、7 回の指導後に実施したアンケート調査の結果から、3 点について明らかになった。一点目は、児童の多くは Small Talk の「話す内容を思いつく」と回答している。これは、本研究実施前に行った教員アンケート結果と異なる。教員アンケートでは、多くの教員が「何を話したらよいか分からない」「会話をどうやって続けたらよいか分からない」と回答している。本研究では、児童動画を見て「国旗ルール」の Small Talk を練習した後、自分の考えや気持ちを反映した Small Talk を行ってい

るため、どんな内容を話したらよいかすぐに思いつくと考えられる。

2点目は、Small Talk のやりとりをする時に「恥ずかしい」「緊張する」と回答した児童が少数であることが明らかとなった。上記で述べた通り、本研究では児童は「国旗ルール」の動画を見て、Small Talk の会話がすらすら言えるようになるまで練習している。この練習の後に、自分の考えや気持ちを反映した Small Talk を行うため、「恥ずかしい」や「緊張する」と感じる児童が少ないと考えられる。

3点目は、動画や「国旗ルール」について、「Small Talk がしやすい」と回答している児童が少なかったことである。児童は 2022 年 11 月の時点で 2 パターン（レッスン 1 及び 2）の動画で、Small Talk の基礎である「国旗ルール」に気付いた段階であると考えられる。レッスン 3 以降では、「国旗ルール」を活用して自分の考えや気持ちを反映した形の Small Talk をした後に同じアンケートをして児童の意識がどのように変化したか再度アンケートを実施し、「国旗ルール」や動画の効果について調査する必要がある。

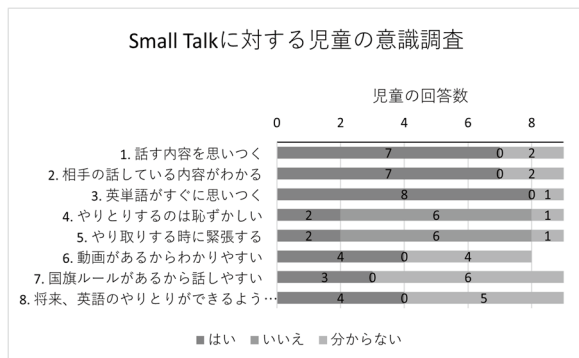


図 2: Small Talk に対する児童の意識調査結果グラフ

まとめと今後の課題

2020 年度の小学校外国語教科化で、第 5 学年では教員と児童、第 6 学年では児童同士が、既習表現を使って自分の考えや気持ちをやりとりする Small Talk を、2 時間に 1 回程度実施することとなった。Small Talk については、文部科学省の YouTube チャンネルである mextchannel や「研修ガイドブック」にある Small Talk 例をみて、教員が Small Talk について研修することができる。しかし、著者らが実施したアンケート・聞き取り調査では、「Small Talk って何か分からない」「何を話したらよいか分からない」「どうやって会話を続けたらよいか分からない」と、多くの教員が Small Talk の指導を困難に感じていた。そこで、本研究では英語圏の会話パターンである Answer-Add-Ask のパターンを、小学生が理解できるように「国旗ルール（こたえ

る・つかする・ききかえす）」とし、このルールに基づいた Small Talk 動画を作成して指導して、アンケート調査の結果、多くの児童が「話す内容はすぐに思いつく」と回答した。

今後レッスン 3～8 を実施し、アンケート調査だけでなくパフォーマンステストも実施し、児童が「話すこと（やりとり）」の力をつけて Small Talk ができるようになったか総合的に調査する予定である。

謝辞

この研究は、博報堂教育財団第 17 回 児童教育実践についての研究助成を受けています。

引用文献

- Berlitz (n. d.) 英会話初心者におすすめ！上達に効果的な会話のテクニック <https://www.berlitz.com/ja-jp/blog/beginner> (参照日 2022.11.29)
- Holmes, J. (2005). When small talk is a big deal: Sociolinguistic challenges in the workplace. In M. H. Long (Ed.), *Second language needs analysis* (pp. 344-372). Cambridge: Cambridge University Press.
- Saslow, J., & Ascher, A. (2015). *Top Notch* (3rd ed). Pearson Japan.
- 内山寿彦・染谷藤重 (2019) 「小学校外国語における児童の動機づけを高める授業実践—効果的なスマールトークの使用—」『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』 10 巻, pp. 51-59.
- 松香洋子・橋本和 (2004) 『子どもが活躍する MPI9 年間カリキュラム』松香フォニックス研究所.
- 文部科学省 (2017.). 「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」. https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm, (参照日 2022.11.26)
- 山口美穂・巽徹 (2021) 「Small Talk を実践した児童の発話パフォーマンスの変化と情意の関係」『小学校英語教育学会誌』 21 巻 1 号, pp. 38-53.